

## 令和5年度 第1回 江西中学校運営協議会 会議録(要点記録)

- 1 開催日時 令和5年5月25日(木) 15時00分から16時15分まで
- 2 開催場所 江西中学校 会議室
- 3 出席委員 大竹信二、天野慎士、影山武史、岡本弥佐、稲垣佐登史、大高陽子、渋谷美紀
- 4 オブザーバー 内山 譲 (南部協働センター コミュニティ担当)
- 5 学校職員 松島 望(校長)、吉春雅子(教務)、犬塚貴美子(CSディレクター)
- 6 教育委員会 堀田洋一(浜松市教育委員会教育総務課)

### 7 協議事項

- (1) 今年度の学校運営の基本方針について
- (2) 本校のいじめ対策方針について
- (3) 夢育やらまいか事業(CS加算分)に対する意見書について

### 8 会議録作成者 CSディレクター 犬塚貴美子

### 9 会議記録

司会の教務から、委員総数7人のうち全員の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

続いて以下のとおり大竹会長から挨拶があった。

- ・ 前年度は学校支援コーディネーターの協力もあり、子ども達に勉強以外のことも経験させていただいたので、今年も出来る範囲でやっていきたい。

続いて、以下のとおり校長挨拶があった。

- ・ 3年生の修学旅行も無事に終わった。様々な見学やクラスごとの移動もあり、良い体験をし、充実した旅行になった。3年生は部活動も最後に向け活動し、1, 2年生も充実した日々を送っている。コロナ禍は収束しつつあるが、インフルエンザが流行しつつある。今後とも地域の皆様や保護者の方とも協力して、子ども達がより良い学校生活を送れるようにしていきたい。

次に、教育委員会教育総務課から、浜松市学校運営協議会規則の確認と、学校運営協議会自己評価等について説明があった。

続いて司会の教務から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、岡本委員から輪番制で議長をしていくことが決定しており、今回は自分の番との発言があり、全員異議なくこれを承認した。

熟議に入る前に前回会議録の確認があった。

#### (1) 令和5年度江西中学校運営基本方針について

議長の指示により、校長から別紙資料に基づき、令和5年度の学校運営基本方針、今後の教育活動について説明があった。

- ・ 学校教育目標「健やかな心身で、共に未来を創造する生徒」の実現に向け、教育活動を行っていく。今年度の重点として、キャリア教育の推進、発達支援教育の充実、学校運営協議会の充実、特に探究活動の充実、ICT体制づくり、生徒の不安への対応等が挙げられる。
- ・ 職場体験はキャリア教育にも通じる充実した経験になるので、今年度もお願いしたい。2年生は11月に講師を呼び、仕事や生き方を講義してもらう未来授業も予定している。

委員からは、以下の発言があった。

- ・ 部活動以外のクラブチーム等の大会への参加は決まっているのか？(大竹委員)

→ 競技によっては中体連にも参加できるようになっている。すべての部活動では、当初の予定であった令和8年度より遅れそうだ。(校長)

- ・ 文科系(吹奏楽等)は難しいのでは？(岡本委員)

→ 指導者や場所の関係もあるので、一つ一つ整頓していかなければいけない。地域によっても違うが、良い方向へと動いている。(校長)

- ・ 活動を行う場所として学校は借りられないのか？(大竹委員)

→ 学校だけでは何ともならない。(校長)

- ・ 職場体験はどんなところに行っているのか？自分も他校の受け入れをしているが、短いせいかしっくりきていない。せっかくの機会だから良い体験をしてほしい。例えば1年時から2年かけて行えば視点も変わっていいのでは、と思う。(影山委員)

→ 地域のお店や会社等に行っている。2年制は受け入れ側にも1年と2年の違いを客観的に見てもらえていいのでは、と思う。(校長)

## (2)本校のいじめ対策方針について

議長の指示により、校長から別紙資料に基づき、本校のいじめ対策方針について説明があった。

- ・ 「いじめは絶対に許されない」という意識を持ち、組織的な指導体制、いじめの未然防止、早期発見、早期対応を心がけ、全教職員の一致協力体制で対応していきたいと考えている。

委員からは、以下の発言があった。

- ・ どこからがいじめで、いじめじゃないのか、曖昧な境界で難しいのでは。また、訴える子と、そうでない子もいる。生徒が気軽に相談できる体制が必要では。(天野委員)  
→ 個人でなく、複数で聞いて判断するようにしている。アンテナを高くして、いろいろな方法で掘り上げていきたい。(校長)
- ・ 家庭の役割も大きい。皆で協力してやった方がいい。(天野委員)  
子ども達はLINEやネットの交流も多く、外からは見つけるのが難しい。(岡本委員)  
→なるべく拾い上げていきたい。(校長)
- ・ 不登校でいじめが原因のものはどれくらいあるのか？(渋谷委員)  
→ いじめの定義が難しく、無いわけではないが、あまり多くはない。居たら重大事態ということだ。一つのことを独りで判断してはいけないし、勝手に決めつけられないので、保護者ともよくコミュニケーションをとり、複数で聞いて判断するようにしている。(校長)
- ・ 不登校の原因はあやふやな子が多いのか？(渋谷委員)  
→大きくはっきりした原因があるわけではなく、なんとなく嫌も多い。(校長)
- ・ 生徒対生徒だけでなく、先生対生徒の例なども拾い上げてほしい。(影山委員)  
→体罰アンケートの実施などを通して拾い上げていきたい。(校長)

## (3) 夢育やらまいか事業(CS加算分)に対する意見書について

議長の指示により、教務から夢育やらまいか事業として配当された負担金(CS加算分)を、昨年同様に、学校運営の基本方針を具現化するための活動(地域人材を積極的に授業の講師に招聘する等の授業への活用、発達支援学級の整備、)の経費として活用させてほしい旨の提案があった。全員意義なく、承認した。

報告 学校支援コーディネーターから11月末の職場体験に向けての報告があった。

## その他連絡事項

- ・ 次回議長の選出

次回の議長について、輪番制で渋谷委員の番ということで、全員異議なくこれを承認した。

- ・ 次回以降の開催日時について

CSデレクターから、第2回協議会を令和5年7月27日(木)15時から、本校舎1階会議室で開催する旨の連絡があった。